

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 742 号
2023年 4月 1日
発行

アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

2022年 アルミ合金輸入量 減少 対中輸入量 25%増加 ロシア産の代材

財務省がこのほど発表した2022年の非鉄金属輸入通関統計によると、昨年のアルミ合金輸入量は1,056千トンで前年比7%の減少となりました。

ロシアからの輸入量は、ウクライナ侵攻後の対ロシア制裁やコンプライアンスの観点から現地企業との取引を制限する動きが広がり、前年比47%減の145千トンと2年ぶりに減少しました。

一方、他国に比べて納期の見通しがたつ中国からは前年比25%増の137千トンと5年ぶりに前年の実績を上回りました。円安の影響で割高感があったもののロシア産の代替需要が高まったと思われます。同様にナイジェリア産は15%増の75千トン、インド産は29%増の64千トンと2年連続で増加しました。ただ、中国産の輸入水準はピークだった2017年の3分の1にとどまっています。

円安の影響で、昨年まで高水準だったASEANや欧州からの輸入は大きく減りました。マレーシアは19%減の48千トン、インドネシアは68%減の6千トンとともに2年ぶりのマイナス。韓国産は38%減の120千トンと3年ぶりに減少。スペインは26%減、イタリアは53%減でした。

2022年 アルミ合金 輸入量

国名	重量(千トン)	前年比
中国	137	(+25%)
マレーシア	48	(-19%)
インド	64	(+29%)
インドネシア	6	(-68%)
スペイン	23	(-26%)
イタリア	14	(-53%)
ナイジェリア	75	(+15%)
ロシア	145	(-47%)
ウクライナ	7	(-52%)
U A E	277	(+16%)
その他	260	
合計	1,056	(-7%)

連休の

ご案内

ゴールデンウィークは、下記のように連休といたします。あらかじめご案内を申し上げます。

4月29日(土)～5月7日(日)

2022年生産 アルミ鋳物・ダイカスト ともに減少

経済産業省がこのほど発表した生産動態統計によると2022歴年（1月～12月）の生産量は下記の通り。

- ・アルミニウム鋳物 364,645トン
- ・アルミニウム・ダイカスト 875,225トン

鋳物、ダイカストともに2年ぶりに前年実績を下回りました。半導体や部品不足で自動車メーカー各社が減産した影響で、1月から7月まで前年割れが続き、9月～10月は復調しましたが、年末にかけて再び減少しました。

アルミニウム鋳物

主力の自動車用が3%減、輸送その他は2%減でした。一般機械は1%増で2年連続でプラスとなりましたが、その他は3%減と2年ぶりのマイナスとなりま

した。

アルミニウム・ダイカスト

自動車用が4%減、二輪車用は5%減と、共に2年ぶりに前年実績を下回りました。一般機械は5%減、電気機械も5%減で2年ぶりにマイナス。一方、その他は5%増と2年連続して増加しました。

本年の見通し

政府は、新型コロナウイルスの感染法上の分類を、5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げると発表しました。

資源国ロシアのウクライナ侵攻の着地点は見えませんが、世界的に経済活動の活発化が期待できそうです。

アルミニウム鋳物・ダイカストの生産

	2021年		2022年	
	生産（トン）	前年比（%）	生産（トン）	前年比（%）
①アルミ鋳物	374,220	+ 8.9	364,645	-2.6
② 一般機械	7,578	+17.4	7,647	+0.9
③ 自動車	346,255	+ 8.3	337,201	-2.6
④ その他	20,388	+16.6	19,797	-2.9
⑤アルミ・ダイカスト	905,134	+10.2	875,225	-3.3
⑥ 一般機械	31,485	+20.3	29,857	-5.2
⑦ 電気機械	17,594	+22.6	16,793	-4.6
⑧ 自動車	799,173	+ 8.8	771,024	-3.5
⑨ 二輪車	22,961	+22.2	21,885	-4.7
⑩ その他	33,921	+24.1	35,665	+5.1



鈴木茂朗氏 旭日単光章受賞 祝賀会

令和4年秋の叙勲に際して、株式会社鈴木倣詞鉄工所の代表取締役の鈴木茂朗氏が、永年にわたる功績が認められて、旭日単光章褒章が授与されました。

これを祝し、一色鉄工会・西尾一色RC・西尾法人会・一色町商工会が発起人となり、令和5年3月5日（日）に三河湾リゾートリンクスで祝賀会が盛大に開催されました。

(写真：鈴木茂朗氏ご夫妻)

令和5年 アスカ工業(株) 社内セミナー

コロナ禍で延び延びになっていた社内セミナーが2月17日（金）の午前中に社員食堂で安全管理の下、開催されました。

- (1) アスカスピリット+アルミ市場の今
専務取締役 岡田正直
- (2) 溶解作業の基本+安全講習
取締役生産部部長 永田規雄
- (3) アルミニウムリサイクルの重要性
取締役社長 天野 卓

第1講座は岡田専務より、アスカ工業株の歴史の紹介から始まり、アスカ・スローガンである「清潔・整頓・安全」についての説明を交えて、アスカセミナーの継続開催や周年事業を社員・取引先と共に皆で祝う文化が語られました。

第2講座は永田部長より、当社の炉の構造の特徴に関して説明があり、続いて溶解作業の基本と各作業の意味と注意点を学びました。また、都市ガスとLPGの性質の違いや過去の事故事例列挙で安全意識の再確認を行いました。

休憩をはさんで、社長からリサイクルの重要性とアスカ工業株の存在意義を学びました。



岡田セミナー



永田セミナー

西尾六万石 桜まつり

例年4月の行事でしたが、近年は桜の開花が早くなり、今年は、3月18日(土)～4月9日(日)の期間、約300本の桜が咲き誇るみどり川や歴史公園を中心に、さまざまなイベントが開催されます。

4月2日(日)

〈みどり川会場〉風船つり、バルーンショー、バンド演奏、太鼓演奏

〈本町会場〉 本町BINGO

〈歴史公園会場〉マルシェ、キッチンカー



社内情報

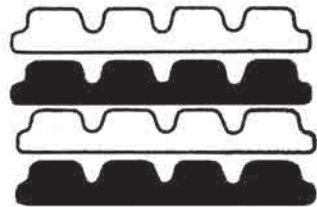
- ◎花壇に植えました名港海運さんご寄贈のチューリップの球根が立派に成長して、例年のように色とりどりの見事な花が咲きました。
- ◎3/1、3/2の西尾信金さん主催の「新入社員ステップアップ研修」に部署異動の社員も数名参加。ここ数年の新入社員とともに有意義な研修を受講しました。
- ◎3頁のように、久しぶりに社内セミナーを開催できました。今後は続編も検討します。

編集後記

- ▣中国の習近平国家主席がロシアを訪問してプーチン大統領と会談。ウクライナとの仲介案を提示。両者の思惑はいかに。
- ▣サミット欠席のお詫びにインドを訪問した岸田首相がウクライナ訪問を強行。5月の広島サミットに向けての準備があわただしい。
- ▣世界に、日本国民にアピールしたかったが、WBCの決勝戦で影が薄く。

アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>